

平成29年度 第2回伊勢原市地域公共交通協議会 会議録

- 〔事務局〕 都市政策課
- 〔開催日時〕 平成29年12月19日（火） 午前10時から11時15分まで
- 〔開催場所〕 伊勢原市役所本庁舎2階 2C会議室
- 〔出席者〕
- （委員） 藤井会長、武山副会長、山崎委員、福田委員、三木委員、小池委員
竹内委員、小川委員、飯田委員、宮川委員、和田委員、福島委員
- （代理出席） 立山委員（代理：高橋委員）、滝澤委員（代理：成田委員）、
岩田委員（代理：水川委員）、米山委員（代理：溝呂木委員）、
目黒委員（代理：市川委員）、菊本委員（代理：加藤委員）
（小松委員は、欠席）
- （事務局） 重田都市部長、飯田参事、吉田主幹兼係長、佐野主幹兼係長、
他3名
- 〔公開の可否〕 公開
- 〔傍聴者〕 0名

《会議経過》

- 1 開 会
- 2 あいさつ（藤井会長、武山副会長）
- 3 議 題
 - （1）伊勢原市地域公共交通網形成計画の案について
 - （2）今後のスケジュールについて
- 4 そ の 他
- 5 閉 会

《会議の内容》

○藤井会長、武山副会長あいさつ

○議題 [会長が議事進行]

(1) 地域公共交通網形成計画の案について [事務局より説明]

(2) 今後のスケジュールについて [事務局より説明]

会 長 本日の議題は、

(1) 伊勢原市地域公共交通網形成計画の案について

(2) 今後のスケジュールについて

となっています。それぞれ事務局から内容の説明を行い、その後、委員の皆様のご意見等をお聴きしていきたいと存じますのでよろしくお願い申し上げます。

それでは、議題の(1)伊勢原市地域公共交通網形成計画の案について事務局から説明をお願いします。

事 務 局 【事務局から説明】

会 長 ありがとうございます。

只今、説明がありました内容について、ご質問等がありますでしょうか。

委 員 施策2「地域公共交通ネットワークの維持・充実」と、施策7「多様な地域のニーズに対応した地域公共交通の仕組みづくり」について、具体的なイメージがわからないため、確認させていただければと思います。

事 務 局 本市は、公共交通の現状で整理していますが、コンパクトな市街地が形成されている中で、公共交通ネットワークに比較的恵まれている状況にあると考えています。こうした中、施策2につきましては、現在のネットワークの維持に努めるとともに、新たな都市づくりに対応したネットワークの検討を進めていくものです。

また、施策7につきましては、公共交通空白地区等に対して、地域ごとに状況は異なりますので、地元の中で助け合う取り組みや、新しい支援のあり方といった部分を考えていくものです。

委員 公共交通を維持するという目標については、減っている利用者を観光客の増加によって維持していくのか、減っていきそうな地域に対しても、利用促進策を仕掛けていくのかといった部分が分かりません。

また、鉄道について、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議の記述がありますが、計画の中の表記について調整させていただければと思います。

事務局 今後の人口減少社会の中で、利用率を上げていくということが施策の基本にあり、施策6「地域公共交通の利用促進活動の推進」では、利用促進策を展開していくこととしています。ご指摘のとおり、これからの公共交通は、一つの局面を見てネットワークを維持していくことは難しいため、本市の特徴である観光需要や基本的な利用促進とともに、福祉などと連携しながらネットワークを支えていく仕組みが必要であると考えています。

また、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議と本計画の中の位置づけにつきましても、別途、調整させて頂きたいと思います。

会長 伊勢原市では、立地適正化計画を別途、作成中です。駅から2km圏内のコンパクトな市街地が形成されており、ヨーロッパであれば、バス網ではなく、自転車で成り立つような都市構造です。

交通問題を考えていくに当たり、立地適正化計画で都市機能誘導区域と居住誘導区域を明確にした場合、立地適正化計画は、計画期間が長いですが、地域公共交通網形成計画は、5年という短い間に現状の交通網を基軸に維持・継続できる仕組みを考えていくこととなります。

そういった中で、将来出てくる居住誘導区域のまとまりを支えられる交通軸を考えることが必要となります。

バス停まで非常に近いというアンケート結果が得られていますが、買い物などの日常生活では、ほとんどマイカーが利用されています。

そのため、公共交通を維持していくためには、市民自らが積極的に利用していく必要があり、伊勢原市では、公共交通を活用するためのモビリティマネジメントを充実させていくことが必要になってきます。

例えば、商工会などを含めて、公共交通を利用した人に対するキャッシュバックなどのソフト施策のインセンティブによって、地域の中で支える仕組みを加えていく必要があります。

しかし現状で、公共交通空白地区が存在して、その地区にバス路線をひ

くことは非常に難しいため、地域の方々の結束力によって、住民協働というかたちで移動手段を講じることができないか、エリアを分けて議論していく必要があります。

今回の計画では、それぞれの地域の声を聴きながら、多様な主体と地元が一体となって考えていく方向性が示されています。今後、具体的な施策メニューの仕組みづくりの中で協働体制を具体化していくというイメージを持って頂きたいと思います。

委員 先ほどの公共交通空白地区等の話では、バスの台数の問題もありますので、すべてをバス路線で網羅することはできません。乗り合いタクシーであったり、他市で取り組んでいる移動手段であったり、総合的に持続可能なネットワークを計画していくことが必要であると考えています。他市でいうと、コミュニティバスがありますが、伊勢原市では道が狭くバスが走れないような道もありますので、代わりにバス停を多く設置させていただいています。

バスとタクシーの中間のような福祉寄りのネットワークを検討するなど、そういった議論もできれば良いと思います。

会長 ご意見ありがとうございます。

他市でいいますと、バスを廃止した代わりにコミュニティバスやデマンドタクシーを導入していますが、成功している例は少ないです。民間で賄える部分は民間にお願いしていくことも大事なところであり、その中で、地域に合った交通の仕組みを選択していく必要があります。

そういった面では、民間の鉄道やバスなどの公共交通のしっかりした軸をつくり、それを補完していくような交通システムを地域に入れることができるか、コンパクトなまちだからほっておいても良いというわけではなく、きめ細かいサポートをどう考えるかを事務局で検討していく必要があると思います。

委員 伊勢原駅より愛甲石田駅の利用者数の増加が大きいのはなぜでしょうか。

事務局 愛甲石田駅は伊勢原市と厚木市の間にあり、大規模企業の通勤者が多く利用している状況であるため、企業通勤者の増加等が要因と思われます。

委員 自動車運転免許証保有状況について、他の都市との比較はないでしょうか。

事務局 他都市との比較データは用意していませんが、平成 28 年に内閣府が発表した「交通安全白書」によりますと、平成 27 年度のデータで免許保有率は全国で 74.8%となっています。これに比較すると、本市は約 2 ポイント高くなっています。

委員 商業施設ができるだとか、駅や施設までの道路網や国道 246 号を飛び越えるような道路とか、移動のスピードアップが図れるような具体的なハード面がはっきりすれば良いと思います。タクシーとしては、バス路線の届かない狭いところやバス停までの輸送等にきめ細かく対応していくことも必要と思います。

会長 その他、ご質問等がありますでしょうか。

網形成計画につきましては、パブリックコメントという形で市民に伝えていきます。本日頂戴しました意見を踏まえまして、文言や表現の仕方等を事務局と私（会長）の方で進めていきたいと思っています。

それでは、議題の（2）今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。

事務局 **【事務局から説明】**

会長 ありがとうございます。

只今、説明がありました内容について、ご質問等がありますでしょうか。

委員 今年度で計画ができるということですが、実務的な協議・打ち合わせを定期的に実施して頂きたいと思います。公共交通会議の下部組織のようなかたちで、例えば、駅前広場の関係をバス・タクシー会社、商店街・商工会、道路管理者、警察署等の方々とお話しできればと思います。

小田急線の複々線化によって鉄道の利便性も向上しますので、市外から

の観光客は公共交通でといった骨太の計画も併せて進められたらと思います。

事務局 具体的な施策展開に当たっては、今後、計画を進行していく中で協議・検討していきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

会長 その他、ご質問等がありますでしょうか。

委員 パブリックコメントについて、意見数の目標値はあるのでしょうか。また、概要版などを作成するのでしょうか。

事務局 パブリックコメントを実施するに当たり、目標とする意見数はありません。また、要約などを作成し、読みやすい工夫をします。

会長 その他、ご質問等がありますでしょうか。

委員 観光客の利用促進というお話がありましたか、伊勢原のバス路線は伊勢原駅と、日向地区、大山地区、比々多地区のそれぞれの地域を運行して頂いていますが、日向から大山、大山から比々多といった地域を連絡する路線も観光客からの要望にあります。大山観光を中心に市内を周遊することができる移動の核をも今後、必要になると思えます。

会長 その他、ご質問等がありますでしょうか。
以上で、本日の議事を終了いたします。ありがとうございました。

○閉会 都市部長

以上